

第 7 次保健医療計画進捗状況について（小児医療（小児救急医療を含む））

1 取組状況及び今後の展開

小項目	今後の方向（医療計画記載事項）	取組状況	今後の展開
（１）医療体制等の整備	<div>○ 休日・夜間の小児初期医療を支える医師の状況の把握に努め、地域の小児科医等への時間外の医療体制への参画の働きかけや、地域の小児拠点病院と地元開業小児科医の連携の促進、地域の小児救急医療体制を支援する市町村等への支援などを通じ、地域の実情に応じた小児初期医療の体制の確保を図ります。</div> <div>○ 二次及び三次医療については、関係医療機関の医療機能を把握し、日本小児科学会の「中核病院小児科・地域小児科センター登録事業」に登録されている病院を中心に、県内４つの生活圏ごとに医療提供体制の整備を図ります。</div> <div>○ 小児救命救急センターの整備や運営に対する支援に努め、小児救命救急センター及び救命救急センターによる三次救急の体制の整備を図ります。</div> <div>○ 関係医療機関の協力のもと、重篤な小児患者の状況を調査し、あわせて予防可能死を減らすために小児の死亡の把握に努め、小児の医療体制の充実の方策について検討を行います。</div> <div>○ 急性期を脱した小児患者等が地域の小児科病院や在宅療養へ円滑に移行できるよう、関係医療機関の連携体制の構築について検討を進めます。</div> <div>○ 発達障がい児の診療等に対応できる一般小児科が充実するよう、関係者への講習等の充実に努めます。</div>	<div>○ 地域の中核病院と地元開業小児科医の連携による、休日・夜間の診療体制の維持を支援するため、県内 2 地域（筑紫地域、久留米地域）に対して財政支援を行っている。</div> <div>○ 小児医療の提供体制を確保するため、小児医療施設の施設・設備整備等に対する財政支援を行っている。</div> <div>○ 小児三次救急の医療提供体制を整備するため、小児救命救急センターに対し運営費の支援を行っている。</div> <div>○ 関係医療機関の協力のもと、平成 27 年 6 月 1 日から令和元年 5 月末の期間において、重篤小児患者状況調査を実施した。</div> <div>○ 福岡県小児等在宅医療推進検討会等を定期的に開催し、関係者間で協議を行うとともに、シンポジウム、研修会を開催した。</div> <div>○ 福岡県医師会に委託し、小児科医などのかかりつけ医等に対して発達障がい関する国の研修内容を踏まえた研修を実施した。 また、平成 2 9 年に最新の医学的知見から指導・助言する発達障がい者支援拠点病院として九州大学を指定し、研修や訪問の機会を利用し地域のかかりつけ医等への相談支援を実施した。</div>	<div>○ 令和 2 年 3 月に策定した福岡県医師確保計画を踏まえるとともに、引き続き、小児救命救急センターの運営や休日夜間の小児救急医療提供体制の維持、小児医療施設の設備整備等への支援を行い、小児救急医療体制の充実を図っていく。</div> <div>○ 重篤小児患者状況調査について、本県の小児救急医療における現状の把握及び課題の抽出を行い、関係医療機関へフィードバックを行う。</div> <div>○ 引き続き、現在の取組みを着実に実施する。</div>
（２）適切な受診に関する啓発	<div>○ 子どもの急病やケガに対し、家庭において適切な対処や受療行動ができるよう、日頃からかかりつけ医を持つことの重要性和併せ、小児救急医療電話相談事業（＃8000）及び「福岡県小児救急医療ガイドブック」を活用した周知に努めます。</div>	<div>○ ＃8000 の県民への周知を図るため、マグネット型リーフレットの配布等広報活動を実施している。</div> <div>○ 福岡県小児救急医療ガイドブックを毎年度作成し、各市町村を通じて県民（妊婦など）へ配布している。</div>	<div>○ 引き続き、現在の取組みを着実に実施する。</div> <div>○ 小児救急医療電話相談事業（＃8000）については、回線数等相談体制のあり方について検討し、必要な見直しを図る。</div>
（３）災害時の小児医療対策	<div>○ 小児救急医療機関による災害時のネットワークを平時から構築するとともに、在宅療養児の災害時の医療ニーズ把握等の方策を検討し、災害時小児周産期リエゾン（小児担当）を中心とした、災害時の小児医療体制の構築に取り組みます。</div>	<div>○ 国主催の大規模地震時医療活動訓練にあわせて、災害時小児周産期リエゾンも図上訓練を実施し、災害時における小児周産期の広域搬送の課題について確認した。</div> <div>○ 災害時小児周産期リエゾン連絡会議を設置し、災害時の小児医療体制の検討に着手した。</div>	<div>○ 引き続き、現在の取組みを着実に実施する。</div>

2 数値目標の達成状況

目標項目	現状（H28）	H30	R1	R2	R3	R4	R5	推移	目標値（R5）
小児死亡率（小児人口千対）	0.23	0.21	※						全国平均以下 (参考 H30:0.20)
取組状況（目標値達成のために実施している施策(事業)等）	小児医療施設の施設・設備整備に対する財政支援、適正受診に係る啓発。								
今後の取り組み方針（今後の方向性等）	小児（救急）医療体制等の強化及び適正受診に関する啓発を継続する。								

推移：（改善）上斜矢印 （横這い）横矢印 （悪化）下斜矢印 ※「小児死亡率」について、国から人口動態統計の発表が行われていないため、記載ができない。

3 進捗評価

達成状況	進捗総合評価（A～E）	理由
	B	福岡県における小児死亡率は全国平均を上回っているものの、順調に減少しており、施策の継続による改善が見込まれるため。

A：達成 B：順調に進捗 （数値の変化が見られない場合であっても施策の実施状況等から順調と判断できるものを含む） C：引き続き施策を実施 D：未着手等策(事業) E：その他